

HARMONY

令和3年2月16日
新庄市立新庄中学校
連絡先 新庄中学校
22-1555
文責 澁江 学美



ひなせ 八畝 陽生 愛修会会長(新庄中学校生徒会)から生徒の皆さんへ

1月23日の土曜日に「全国いじめ問題子供サミット」に私と副会長の3人で出席しました。今回はコロナウィルスの影響でオンラインでの開催でしたが、私たちがそこで学んできたことを皆さんにお伝えします。話が長くなってしまい申し訳ありませんが顔をあげて真剣に話を聞いていただくようお願いします。

今年のテーマは「いじめって何?~私たちが考える「いじめ」について知らないやいけないこと~」です。このテーマをもとに、全国の小中学生と2つの項目について考えを共有してきました。

1つ目は、「いじめ」について必要な知識は何か、そしてその知識を身につけるにはどうすればいいかを考えようです。必要な知識としては、「いじめ」についての法律や定義を知っておく、「いじめ」が起こってしまう原因を知っておくなど、この他にもたくさんの考えが生まれました。最終的には、「相手の立場になって、何がいじめなのかを考えることが重要だ」ということにまとまりました。具体的には、どのような行動や言動が「いじめ」なのか、「いじり」なのかをきちんと考えるということです。そして、その知識を身につけるためにはどうすればいいか、ということには、いじめを自分のこととして学ぶ、傍観者にならないなど、たくさんの考えが生まれました。最終的には実際の体験談から学ぶということにまとまりました。具体的には道徳の授業で学んだり集会等で体験談を寸劇にして学んだりなど分かりやすく工夫して学んでいくことが重要だということです。

2つ目は、「自分たち、家族、先生が協力していじめ問題に対応するために必要なことはなにか、考えよう」です。

こちらにも、保護者の方が、学校の状況などをしっかりと理解する、加害者のことも考えるなど他にもたくさんの考えが生まれました。最終的には、みんなで「いじめ」についての共通意識を持ち生徒が中心となって、「いじめ」についての目的を成す集会を開くことにまとまりました。今までお伝えしたのは討議の内容でしたが、次は他校の「いじめ」問題への対策活動も少し紹介しようと思います。



取り組み紹介の中で、多く出てきたのが、寸劇をして「いじめ」に対する意識を高めてもらうや、DVDを作成して「いじり」なのか、「いじめ」なのかを生徒に考えてもらうなどです。このような取り組みは、先ほどの2つめの項目のまとめである、みんなで「いじめ」についての共通意識を持つことにつながると思い、これからの愛修会活動にもつなげていきたいと私たちは考えています。また、「いじめ」に対する思いをリボンに書き、筆箱や制服にそのリボンを付け、全校で思いを共有している学校や、学年を問わず、1年生、2年生、3年生混合でグループを組み、幅広い年代の「いじめ」に対する思いを伝えあっている学校もありました。他にも、まだまだたくさん取り組みがありました。時間も限られていますので、このくらいにしておこうと思います。

私たちが皆さんにお願いしたいのは、「いじめ」を自分のこととして考えてほしいということです。実際、今の新庄中も「いじめ」はゼロではありません。今の新庄中にも、学校に登校できていない生徒がいたり、口調が少し荒くなってしまっている生徒がいたりなど、小さなところで「いじめ」の原因となることがあります。それではダメなのです。

以前、私と副会長と校長先生で「どんな学校を創っていきたいのか」を話しました。私たちの考えていたことと校長先生が考えていたことは同じでした。そこから生まれた私たちの合言葉は Pride & Respect です。

Prideと聞くと「Prideが強い」のような文を想像すると思いますが、Prideには「誇り」という意味があります。Respectには「尊重する」という意味があります。つまり「誇りを持ち、互いを尊重し合う」という意味なのです。私たちは、そんな学校を目指しているのです。あいさつができて、時間を守れても、互いのよいところを見つけられても、「いじめ」がなくなる限り、誇りを持つことはできません。互いを尊重しているとは言えません。ですから、皆さんにお願いしているのです。全校で「誇りを持ち、互いを尊重し合う」学校を創っていきましょう。今回のサミットで学んだことを活かし、私たちはこれからの愛修会活動を行っていきます。皆さんもご協力、よろしく願います。

ありがとうございます

立春過ぎも大雪が続き、思わず空を見上げてしまいます。本校では年が明けてから、雪崩れで受水槽が壊れてしまいました。また大雪警報でメール送信したりご心配をおかけしています。早朝から学校前の道路、歩道がきれいに除雪されています。寒い中、交通指導員、見守り隊の皆様が子どもたちを待ってくれています。そして毎朝、子どもたちが通る道々を除雪したり声がけをしてくださる地域の方々がいらっしゃいます。本当にありがとうございます。